

令和4年度 榎町地区
電子回覧板アプリ実証実験報告書

令和5年2月

新宿区地域振興部榎町特別出張所
株式会社シーピーユー

1 実証実験の目的

令和2年度以降、新型コロナウイルス感染症の影響により町会活動など「地域コミュニティ活動」の停滞が懸念されており、コロナ禍の中での「新たな日常」を踏まえた新たな町会活動の構築が求められています。

併せて、榎町地区では令和3年8月に山吹町・鶴巻町地域で都市ガスの供給が停止し最長1週間程度、給湯や調理等ができなくなるという事故が発生しました。

区ではホームページや掲示板、FAX送信や回覧板依頼などにより情報発信を行いましたが、復旧の時期や支援対策などに関して、もっと迅速かつ積極的に情報発信して欲しいとの要望が地域から区に多く寄せられました。

また、榎町地区では令和2年度に東京都の「新型コロナウイルス感染防止普及啓発事業助成金」を活用して榎町地区町連が主体となって23町会で42台のiPadを購入しており、これらのIT機器の有効活用も課題となっていました。

こうした背景を踏まえて、榎町地区では、iPadやスマートフォン等を活用し「榎町地区電子回覧板アプリ実証実験」を令和4年度に実施することとしました。この実証実験では榎町地区をモデル地区に位置付け、電子回覧板アプリを活用して情報提供することにより、町会活動のデジタル化支援と災害時の安否確認手段としての利用を検討していきます。

2 榎町地区の現状

(1)各町会のiPad所有状況(計27町会中)

- ① 補助金を活用して購入した町会 : 23町会
- ② 従前から所有している町会 : 2町会

(2)iPad基本操作講習会の開催

令和3年6～7月に社会福祉協議会と連携して計3回、操作説明会を開催しました。15町会18人の方にご参加いただき、カメラ撮影、メール送受信などの基本操作の講習を行いました。併せて、「基本操作マニュアル」を作成し、基本操作講習会に参加しなかった町会も含めて全町会に配布しました。

(3)地区町会連合会開催通知のメール配信の試行実施

開催通知については、FAX及び郵送で送付していましたが、迅速な情報提供と、災害時に備えた通信手段の拡充につなげるため、希望する町会に対し、令和3年11月からiPad等へもメール配信を行うこととしました。

令和5年1月末現在で21町会へメール配信を行っており、今回実証実験を行う電子回覧板アプリだけでなく、様々な情報伝達手段を今後も模索していきます。

3 電子回覧板アプリ実証実験全体スケジュール

年	月 日	内 容
令和4年	1月～3月	・榎町地区町連役員会において概要説明(計3回)
	3月24日(木)	・榎町地区町連定例会で参加町会の募集
	4月15日(金)	・参加町会募集締め切り、5町会から応募。
	4月21日(木)	・榎町地区町連定例会で5町会の参加を決定 ・参加5町会との意見交換会
	5月25日(水)	・第1回説明会開催(榎町地域センター)
	5月26日(木)	・第2回説明会開催(//)
	6月 1日(水)	・順次実証実験開始(当初6カ月間を予定) ・出張所から公設掲示板チラシの電子回覧開始
	6月16日(木)	・榎町地区町連定例会 参加町会へ町会員用周知チラシの配布 (計1500部)
～各参加町会で電子回覧板アプリを運用～		
	9月30日(金)	・実証実験参加町会による懇談会
	11月17日(木)	・榎町地区町会連合会での進捗報告
	12月末	・実証実験期間終了(当初計画) ※各町会の要望により実験期間を継続
令和5年	2月初旬	・利用者アンケートの実施
	2月20日(月)	・赤城下町地区アプリ操作講習会
	3月16日(木)	・成果報告会(榎町地区町会連合会定例会内)

4 実証実験の進め方

(1) 榎町地区町連役員会及び定例会における参加町会の募集

令和4年1月～3月の地区町連役員会で実証実験の概要説明を行い、実験実施の承諾をいただきました。当初、榎町地区3ブロックから各1町会参加の想定をしていましたが、3月の地区町連定例会で周知したところ5町会から参加希望をいただきました。

実施方法の工夫により当初計画内で5町会の参加が可能となったため、以下の5町会参加で実施することとしました。

町会名	会員世帯数	利用ID付与数
①中里町町会	356世帯	285世帯
②天神東町会	159世帯	128世帯
③赤城下町町会	561世帯	449世帯
④原町三丁目町会	495世帯	396世帯
⑤市谷仲之町会	354世帯	284世帯
計	1,925世帯	1,542世帯

※利用ID付与数について

実証実験という性質上、町会全世帯の参加は難しいとの意見もあり、世帯数の8割程度を基本として付与することとしました。

(2) 榎町地区電子回覧板アプリ実証実験におけるメニューの検討

<各町会メニュー>

・必要な情報区分6アイコンに絞り、5町会共通のメニュー画面とした



アイコン	種別	活用例
連絡事項	汎用記事型 役員⇒全体、所属、役職	<ul style="list-style-type: none"> 各種連絡事項を発信 回覧板 訃報
行事予定	汎用記事型 役員⇒全体、所属、役職	<ul style="list-style-type: none"> 総会開催の案内 町内の行事、予定：お祭り、運動会、イベント 一斉清掃の案内
防災情報	汎用記事C型 役員⇒全体、所属、役職	<ul style="list-style-type: none"> 地域のハザードマップを案内 避難所の案内 防災訓練の案内 地域の防災情報：河川、げけ崩れ、台風 不審者情報
役員会	役職限定掲示板型 役員内でチャット形式	<ul style="list-style-type: none"> 役員会開催案内 役員内の各種連絡、確認
各種資料	汎用記事型 役員⇒全体、所属、役職	<ul style="list-style-type: none"> 町内会の資料として保管 総会議案書、報告書 町内会規約
問い合わせ	問い合わせ型 全体⇒役員	<ul style="list-style-type: none"> 不法ごみについて 役員への問い合わせ

(3)実施に向けた参加町会との意見交換会

令和4年4月21日の町連定例会で参加町会を確定し、終了後に参加町会と以下の内容について意見交換を行いました。

①電子回覧板アプリ説明会の開催日程について

平日夜間の開催希望が多く、以下の日程で説明会を開催することとしました。

- ・ 令和4年5月25日(水)18時30分～20時 榎町地域センター
- ・ 令和4年5月26日(木)18時30分～20時 榎町地域センター

②その他の意見

- ・ この取組が広がれば、掲示板管理など、町会の負担はかなり減ると考えている。町会の加入促進にもつながるのではないか。(複数町会)
- ・ 町会内での実験の周知方法については、町会ごとのやり方があるので各町会に任せて欲しい。説明会は役員以上の参加としたい。(複数町会)
- ・ 災害時の利用に期待している。防災訓練等にも組み込めると良い。(原町三丁目町会)
- ・ LINEでの情報提供を検討していたが、情報の秘匿性に課題があり、本アプリのようにID管理が望ましい。(赤城下町町会)

5 電子回覧板アプリ説明会について

参加5町会の町会長と役員以上の方を参加対象として、説明会を開催しました。

(1)実施日時

- ①5月25日(水)18時30分～20時 榎町地域センター多目的ホール
- ②5月26日(木)18時30分～20時 榎町地域センター多目的ホール

(2)参加人数

①5月25日 4町会10名

- ・ 市谷仲之町会 : 計2名(町会長、他役員1名)
- ・ 赤城下町町会 : 計2名(町会長、他役員1名)
- ・ 原町三丁目町会 : 計2名(町会長、他役員1名)
- ・ 中里町町会 : 計4名(役員4名)

②5月26日 3町会 9名

- ・ 天神東町会 : 計5名(町会長、他役員4名)
- ・ 中里町町会 : 計1名(町会長、他役員1名)
- ・ 原町三丁目町会 : 計3名(役員3名)

※両日に分かれて参加した町会もあり。

(3)説明会の内容について

- 実証実験全般のスケジュールについて
- 電子回覧板アプリの概要
- 役員向け具体的な運用方法
- 一般参加者への周知方法等



(4)説明会での課題や質疑応答など

説明会では、以下のような課題が見受けられました。

①機器操作について

町会所有のiPadについては、普段利用していない町会もあり、アップル社製品のパスワード設定等も終了していない町会もありました。

電子回覧板アプリをインストールするためには、同パスワードの設定が必要なため、その作業に時間を要する町会も見られました。

また、個人所有のiPhoneについては、同様にパスワード設定が必要となり、設定ができない参加者もいらっしゃいました。

iPad、スマートフォンとも普段から一般的な利用をしていれば、アプリのインストールも支障がないと思われませんが、電子回覧板アプリの浸透にあたっては、各操作機器の基本操作の習熟、または、各町会及び特別出張所でのサポート体制の構築も必要なことがわかりました。

②説明内容について

今回の説明会では、参加者から事前に氏名・フリガナの聞き取りを行い、アプリ内の各町会の画面へ説明会の場に入れるよう事前設定をしておきました。

これにより、アプリをインストールし、参加者の氏名でログインすれば、各町会用のアプリをこの日から使用開始することができました。

普段からIT機器を活用している参加者は、講師による指導が無くてもマニュアルに基づいて操作を進めることができましたが、一部の参加者は個別の操作指導が生じました。

今後、幅広く一般参加者に展開する際には、さらにわかりやすいマニュアルの作成や、個別に指導する人材(専門的な知識が無くても基本的な知識があれば十分)が必要なことがわかりました。

先行自治体で見られる「ITボランティア」などの人材を町会内、又は管轄の特別出張所内に配置できると円滑な運営ができると考えられます。

6 電子回覧板アプリ説明会開催後の取組

(1) 榎町特別出張所の取組

6月1日から、榎町管内の公設掲示板に掲示依頼があったものについては全てPDF化し、電子回覧板アプリ内に設けた「榎町特別出張所の情報」内にアップすることとしました。これにより榎町管内に13基ある公設掲示板と同じ内容がアプリ内で確認できるようになりました。

※掲載実績は以下のとおりです。

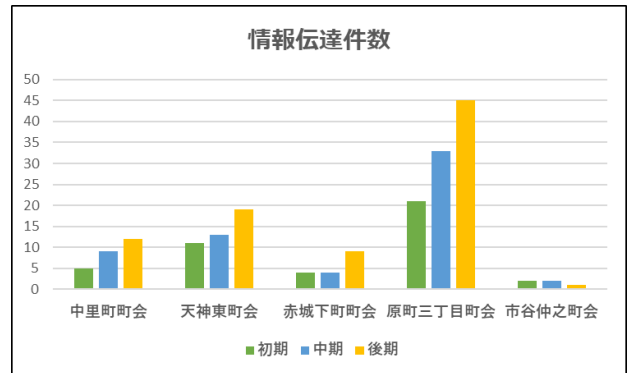
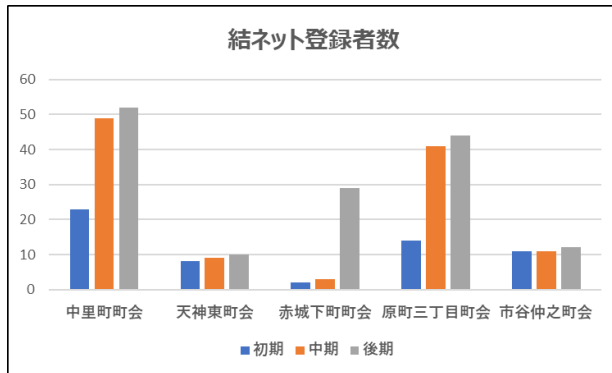
6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
17件	11件	16件	19件	20件	16件	8件	14件



なお、実際の掲示板と大きく異なる点は、①掲示スペースの都合により掲示できないということが無いという点、②いつでも手元で確認ができる点、③掲示(アップ)した時点ですぐに確認ができる点が挙げられます。

(2)各参加町会の取組実績(詳細は別紙資料のとおり)

町会名	6月～7月		8月～10月		11月～1月	
	登録者数	情報伝達件数	登録者数	情報伝達件数	登録者数	情報伝達件数
①中里町会	26	5	56	10	57	12
②天神東町会	13	10	15	13	15	19
③赤城下町町会	4	4	22	7	32	9
④原町三丁目町会	16	17	45	34	46	45
⑤市谷仲之町会	13	2	14	2	14	1
計	72	38	152	66	164	86



※併せて8月1日から「榎町連絡網」として各町会の管理権限者をメンバーとした新たなグループの運用を開始しました。

<新宿区榎町連絡網メニュー>

・榎町特別出張所と5町会を繋ぐ、双方向の連絡網を構築



アイコン	種別	活用例
連絡	汎用記事型 役員⇒全体、所属、役職	・榎町特別出張所からの連絡 ・5町会登録者からの連絡
広報物	汎用記事型 役員⇒全体、所属、役職	・回覧情報の配信 ・広報物の配信
防災情報	汎用記事型 役員⇒全体、所属、役職	・防災情報の共有
各種資料	汎用記事型 役員⇒全体、所属、役職	・実証実験に関する資料 ・結ネットに関する資料 ・その他関連資料
Q&A	掲示板型 全体掲示板	・結ネットの質問、回答 ・榎町特別出張所への問合せ

令和4年度 榎町特別出張所主催iPad操作講習会の開催

令和4年9月9日(金)に区の主催で令和4年度のiPad操作講習会を開催し、12町会19名に参加いただきました。電子回覧板アプリ実証実験参加町会も2町会参加しているため、その状況を参考に掲載します。



本講習会は一般的な教室形式ではなく、全体を進行する講師の他に受講生2～3名あたり1名サポート講師が付く形で実施しました。

受講生は町会長の皆さんに多く参加いただきましたが、サポート講師により丁寧な指導が行われました。

また、この様子はJ:COMにより地域ケーブルTVで放送されました。

電子回覧板アプリは簡易な操作で利用できますが、今後幅広く電子回覧板アプリを周知していくためには、このようなきめ細かい講習会の開催も検討する必要があると考えられます。

電子回覧板アプリ参加町会懇談会の開催

実験開始から4カ月が経過した令和4年9月末に参加町会で懇談会を開催しました。懇談会では優良事例の発表や情報共有、課題検討を行いました

電子回覧板アプリ懇談会 議事概要

日時:令和4年9月30日(金)18:30~19:30

場所:榎町地域センター大会議室A・B

出席者:原町三丁目町会(土屋会長、中村副会長、山住氏)

天神東町会(福島会長、加藤氏、小関氏)

赤城下町町会(阿部会長)

中里町町会(手嶋会長、花屋氏)

CPU(ICT事業部 鈴木部長)

榎町特別出張所(田中所長、会田主査、佐藤)

地域コミュニティ課(大柳地域振興部長、玉置係長、他1名)

司会:会田主査

議 題

1 挨拶(+現状報告)

<田中所長>

「5町会の皆様方には数々のご協力をいただき感謝申し上げます。各町会で実証実験が進んでいます。本日は、皆様より進捗状況をご報告いただき、ご意見やご要望をお伺いしたいと思います。」

<原町三丁目町会>

- いろいろな事例が蓄積しつつあるが、思ったより参加人数が集まっていない。
- やる気はあるがやり方を忘れてしまう。このアプリが有効であることは認識している。

<天神東町会>

- 役員同士の連絡(訃報連絡や重要な共有事項)に使用中。これからもっと広げていければと期待している。
- 現在の登録数は役員プラスアルファ。今後、家族から町会へと増やしていきたい。

<赤城下町町会>

- コロナ禍により、思ったような町会活動ができていない。

<中里町町会>

- 賛同者は多いが登録数は50名で止まっている。コロナ禍でイベントが中止になっていることも影響していると思われる。

2 好事例紹介

①中里町町会－周知と登録数を増やす工夫

- ・初めに配付したアプリのお知らせには、誰からも返信がなかった。
- ・説明会を行うことを決めて改めて町会からの手紙を付けて案内チラシをポストイン。説明会に集まった方々に、アプリの簡単な説明と登録の仕方を案内した。現在、少しずつ反応が増えている。
- ・町会長から町会員の皆さんへのメッセージを載せて思いを伝えている。

②原町三丁目町会－発信内容の工夫

- ・現在、地域のイベントのお知らせと報告を発信し、記録としても残している。具体的には、もちつき、豆まき、縁日、子ども花火大会、まつり等について文章と写真を掲載。
- ・写真は個人特定ができないように心がけている。
- ・役員間の連絡事項の配信もしている。
- ・町会の中でどんなことが行われているか知る機会が少なく、お知らせも回覧板で順々と回している状況なので、電子回覧板アプリで瞬時に情報を届けることができるのが素晴らしいと考えている。

3 進捗と改善要望(質疑含む)

<中里町町会>

- ・登録者数は50名程度になっているが、記事はまだ多くは載せられていない。今後は、敬老や入学等のお祝い、防災等の配布物については、事前にアプリでお知らせしていきたい。

<赤城下町町会>

- ・アプリの活用に関しては、パンフレットのみでは理解と共有は難しいと思う。
- ・町会への周知と登録促進は、もう少しコロナが落ち着いたところで町会内での説明会を行いたいと思っている。今年は赤城神社の祭礼もあったので、原町三丁目町会のように写真を載せられたらと思う。焦らず少しずつでもやっていきたい。
- ・役員同士の連絡はLINEを使用している。結ネットにもLINEのような機能があるとよい。

<天神東町会>

- ・登録者は増えていない。祭りなど地域行事には出てくれるが、アプリの説明会を開いてもどれだけ来てくれるかわからない。
- ・今後は不在で何度も訪問することを避けたいので、町会費集金の日程を知らせておきたい。このアプリは使い始めたばかり。連絡等に使いながら慣れていきたい。

<原町三丁目町会>

- ・使用方法のマニュアルはあるか？
→ アプリ内のサポート－マニュアルでアクセス可能。

- 動画は載せられるか？
→ 動画は現時点では掲載できない。
- 情報発信時、役員全体でなく一部の役員だけに(例:防災担当のみ)に発信したいことがあるが可能か？
→ 事前に役員全員、役員グループ1、グループ2等作っておけば選択発信可能。町会長などの管理権限者であれば、マニュアルに基づきPCで設定することもできる。難しい場合は、特出を通じてCPUにお知らせいただきたい。
- 同一人から登録申請が複数来ることがあるが、本人には登録済と表示されないのか？
→ 複数回登録はシステムの的に可能。管理者権限で重複登録は削除することができる。
- 今後、古くなった役員会の資料等はデータ容量の関係で消去した方が良いか。
→ データが溜まって動作が重くなるようなこともなく、容量にはかなり余裕があるのでそのまま問題ない。

<榎町特別出張所>

- 特別出張所からの連絡を発信している。その閲覧率はどのタイミングでカウントされるのか
→ 記事を開いた時点でカウントされる。

4 災害時モードの使い方の確認

電子回覧板アプリの重要な機能として「災害時の安否確認機能」が挙げられる。各町会ともその機能の活用に至っていないため、改めて操作方法等について確認を行いました。

①操作方法



【意見】

- 災害時にこそ使いたいというニーズは多い。災害時使用の利便性、有効性を全面に出して周知すれば、もっと地域の関心を集められる。町会のニーズに合った周知発信が必要だと思う。
- 災害時の使い方について、今日のような会でまず役員が訓練しておきたい。



令和4年12月15日の臨時打ち合わせ会

実証実験参加者の更なる増に向けて実験参加町会と打ち合わせを実施しました。
参加者の増加を図りたいという考えは各町会一致しており、そのために以下の取組を追加で実施することとしました。

・名刺サイズの周知ツールの新規作成

A3周知用チラシを改めて追加配布しましたが、「いつも持ち歩いて周知に使える名刺サイズぐらいのカードは作れないか」との要望が複数町会からありました。

情報量が多いため、二次元バーコードをメインにして各町会に特化したものを作成し希望町会に配布しました。


いつでも どこでも スピーディーに 地域情報を受発信！

榎町地区電子回覧板アプリ ← **結ネット** ←

← **スマホで登録** ←

平常時 電子回覧板の確認 ←
各種案内の周知、出欠確認など


災害時 **町会員の安否確認**など ←



原町三丁目町会 ←

榎町地区結ネット 導入手順 ←

- 1 最初に右コードでアプリをインストール。 ←
- 2 ログイン画面の「新規利用申請」をタップ。
他項目は入力不要。次の手順で入力する。 ←



- ① 「組織体名」に「はらまちさんちようめ」と入力して検索。 ←
- ② 「新宿区原町三丁目町会」をタップ。 ←
- ③ 利用者新規登録画面で「姓名・ふりがな・所属」を入力。 ←
* 他項目は任意入力。 ←
- ④ 右下の「申請」をタップ。 ⇒ 承認を受けたら利用開始！ ←

令和5年2月20日の赤城下町町会主催のアプリ説明会

参加町会の地域での説明会の開催希望があり、赤城下町会の主催で令和5年2月20日(月)に赤城生涯学習館で電子回覧板アプリの基本操作を中心とした操作講習会を開催しました。

参加者実績(計12名)

- ・赤城下町町会 5名
- ・天神東町会 2名
- ・中里町町会 3名
- ・原町三丁目町会 2名



参加者数は少なかったものの、各町会の管理者の方に集まっていたいただき、電子回覧板アプリのメニュー追加など、今後に向けた積極的な意見を多く聞くことができました。アプリの機能向上も進んでおり、定期的な説明会の開催は今後も必要と考えられます。

令和4年度実証実験のまとめ

参加5町会の皆様、またご支援いただいた松永会長を始めとする榎町地区町連の皆様、この度は「榎町地区電子回覧板アプリ実証実験」に多大なご協力をいただき、本当にありがとうございました。

当初、今回の実証実験は令和4年6月～12月の約6カ月間を実験期間として計画していましたが、新型コロナウイルス第7波の際の感染者の拡大により町会行事の開催が難しい期間が長く続いたことなどから、実証実験を延長したいとのご要望をいただき、年度内については継続して実験を実施することとなりました。

実証実験の実績としては、参加町会全体で約170名、情報の発信件数は約90件という実績を挙げることができました。

現在、令和5年度についても今年度と同規模で実証実験を継続できるよう準備を進めているところです。そのため、今回の成果報告は最終報告という形ではなく、進捗をお伝えする「中間報告」とさせていただきます。

今回の「榎町地区電子回覧板アプリ実証実験」は新宿区の中で榎町地区だけで実施していただいた先行的な取組です。普段から地区町連が一丸となって様々な行事に取り組まれている榎町地区だからこそ実施できたものと考えています。

行政からの情報は、現在、広報誌、掲示板・回覧板などの紙媒体や、ホームページ、SNS、電話、FAX、電子メール等を利用してお送りしているところですが、それに加えて「電子回覧板アプリ」を活用することで、迅速で詳細な町会独自の情報を省力化して送ることができるようになります。また、災害時に迅速に安否確認ができることがこのアプリの大きなメリットとなっており、今後はアプリを利用した電子型の防災訓練なども実施していきたいと考えています。

榎町地区では、令和5年度も「榎町地区電子回覧板アプリ実証実験」に取り組み、町会内の情報発信のほか、災害時の安否確認など緊急応報の迅速な伝達手段として活用し、地域のデジタル化推進に取り組んでまいりますので、引き続きご協力のほど、よろしくお願いいたします。

新宿区地域振興部榎町特別出張所

別紙資料

好事例のご紹介①

【原町三丁目町会】

■「第1回子ども花火会」の記事を発信

19:49 5G

記事詳細 - 各種資料
サポート システム サポート

引用 修正 再送 集計

第1回子ども花火会

発信者 システム管理 中村 功

発信先 全員


発信日 2022/08/29 21:45

実施期間 2022/07/23 18:30 から
2022/07/23 20:00 まで

既読確認対象 世帯代表者のみ

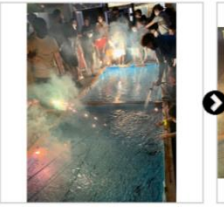

記事内容 [コピー](#) [文字中](#)

第1回子ども花火会
たくさんの子供たちのご参加ありがとうございました。
町会役員の皆様、若原共栄会の皆様お疲れ様でございました。

住所・地図 

原町三丁目 宝祿稲荷神社境内

添付



第1回子供花火会の報告
で案内内容と写真を発信。子
供たちの楽しい様子が良く分
かります。



好事例のご紹介②

【原町三丁目町会】

■「ふれあい広場のご報告」の記事を発信

19:50 5G

記事詳細 - 各種資料
サポート システム サポート

引用 修正 再送 集計

ふれあい広場のご報告

発信者 システム管理 中村 功
発信先 全員
発信日 2022/09/22 11:17
既読確認対象 世帯代表者のみ


記事内容 **コピー** 文字中

たのしい縁日 ふれあい広場
9月10日（土）17～20時
原三 宝録稲荷神社境内にて

沢山のご家族にご参加いただきありがとうございます😊
お陰様で、完売コーナー続出でした。
売り切れでご迷惑かけた方々ごめんなさい！
次回も楽しみにしてくださいね。
17日（土）午後から、子供神輿、山車の町内巡幸を予定しております。是非ご参加ください。

住所・地図
原三 宝録稲荷神社境内

添付



ふれあい広場のたのしい縁日の様子を報告として伝えています。次回の案内もあり、参加したくなります。



好事例のご紹介③

【原町三丁目町会】

■「新春餅つき大会の報告」の記事を発信

11:45 4G

記事詳細 - 各種資料
サポート システム サポート

引用 修正 再送 集計

新春餅つき大会の報告

発信者 システム管理 中村 功

発信先 全員


発信日 2023/01/13 12:00

実施期間 2023/01/09 11:00 から
2023/01/09 まで

既読確認対象 世帯代表者のみ



記事内容 コピー 文字中

新春餅つき大会を開催致しました。
天候にも恵まれて、大勢の方々にご参加いただきありがとうございます。
けんちん汁にお餅を入れ約300杯配布しました。親子連れの方が多く、また、車椅子の方やご年配の方もいらして頂き、皆様笑顔に包まれ明るい新年のイベントとなりました。
原町三丁目

住所・地図 

宝祿稲荷神社境内

添付



餅つき大会を行った内容を分かりやすく記事にして発信。餅つき大会の様子が分かる写真を付けて発信しています。



好事例のご紹介④

【原町三丁目町会】

■「元朝参り 今年の締めくくりは地元の神社へ」の記事を発信

19:50 5G

記事詳細 - 行事予定
サポート システム サポート

引用 修正 再送 集計

元朝参り 今年の締めくくりは地元の神社へ

発信者 システム管理 中村 功

発信先 全員

発信日 2022/12/19 14:15

実施期間 2022/12/31 23:00 から
2023/01/01 まで

既読確認対象 世帯代表者のみ


記事内容 コピー 文字中

今年の締めくくりは地元の神社へ！
御神酒、豚汁でホッコリしていると除夜の鐘が響いてきます♪
皆様と共に新年を迎えましょう。

住所・地図

新宿区原町3丁目20

添付



地元の神社への元朝参りを案内。案内チラシも添付しています。住所が入力されていて、現地地図を見ることもできます。



好事例のご紹介⑤

【原町三丁目町会】

■「原三防災倉庫整理しました」の記事を発信

19:50 5G

記事詳細 - 各種資料
サポート システムサポート

引用 修正 再送 集計

【再通知】原三防災倉庫整理しました。

発信者 システム管理 中村 功

発信先 全員

発信日 2023/02/05 21:52

既読確認対象 世帯代表者のみ

記事内容 **コピー** 文字中

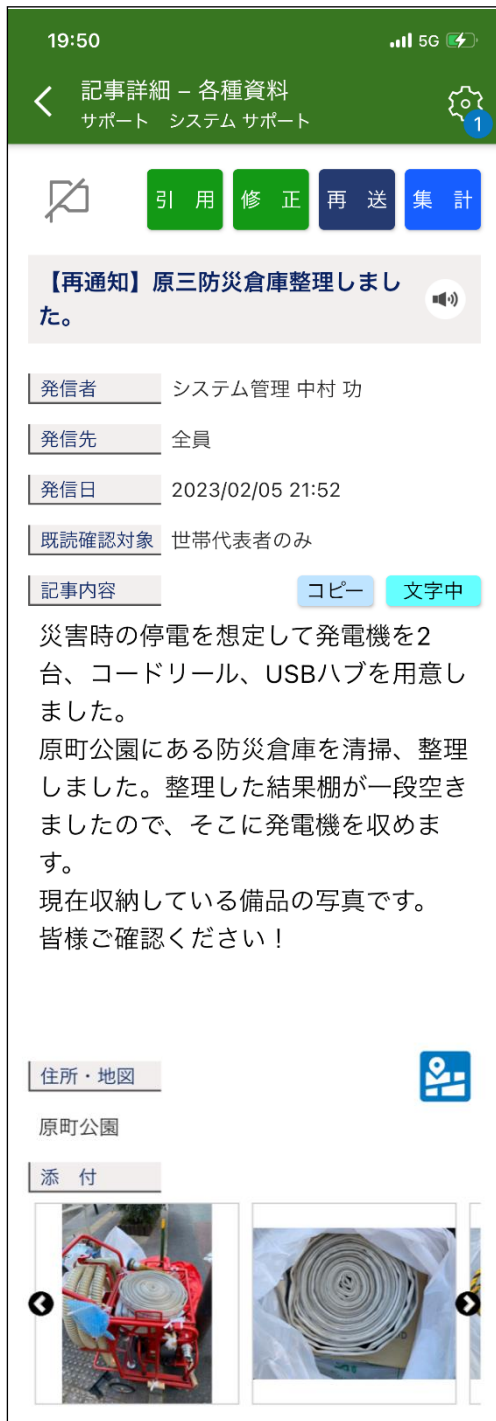
災害時の停電を想定して発電機を2台、コードリール、USBハブを用意しました。

原町公園にある防災倉庫を清掃、整理しました。整理した結果棚が一段空きましたので、そこに発電機を収めます。

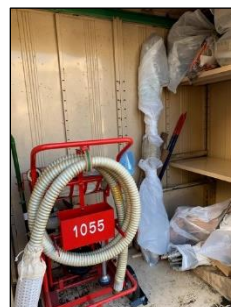
現在収納している備品の写真です。皆様ご確認ください！

住所・地図
原町公園

添付



防災倉庫整理の報告を発信。
防災倉庫備品の写真を添付し、
防災倉庫の備品一覧も兼ねて
います。



電子回覧板アプリ 実証実験アンケート(管理者用)集計

【総評】

電子回覧板アプリそのものについては、機能やデザインに不満はないものの、操作方法の習熟が必要な町会が半数。また、アプリの各機能については実証実験を行う際にいくつかある内、新宿区で使用するアプリは限定した機能にとどめてあるが、さらにその中の特定の機能を使用していることがわかる。

実証実験について、操作講習会で約8割の町会が理解しており、区からの情報提供の頻度についても肯定的な回答を得られている。

課題として、一般町会員への周知、アプリ操作方法の習熟・指導が十分にできていない。

デザインなどの見た目については良好な意見をいただいているが、操作などのアプリの扱いについては難しいという意見が出ている。高齢者が多い町会としては、高齢者にもわかりやすい、扱いやすいような改良の余地がある。

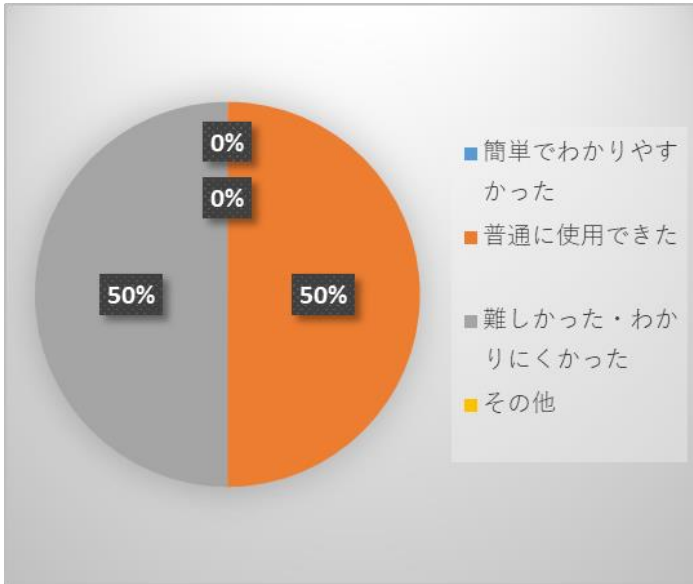
次年度以降、多くの町会員へ周知、利用の推奨をしていくための周知方法やアプリの習熟のためツールを利用していくとともに、もっとアプリを使用する機会を増やすことも併せて行っていく必要がある。

1 記入者(5町会6名)

原町三丁目町会	2名
中里町町会	1名
天神東町会	1名
赤城下町町会	1名
市谷仲之町会	1名

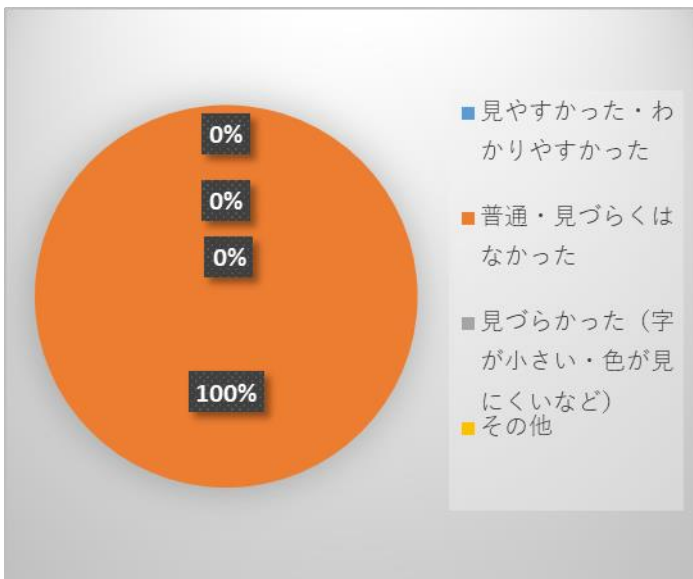
2 電子回覧板アプリ「結ネット」について

2-(1)操作方法について



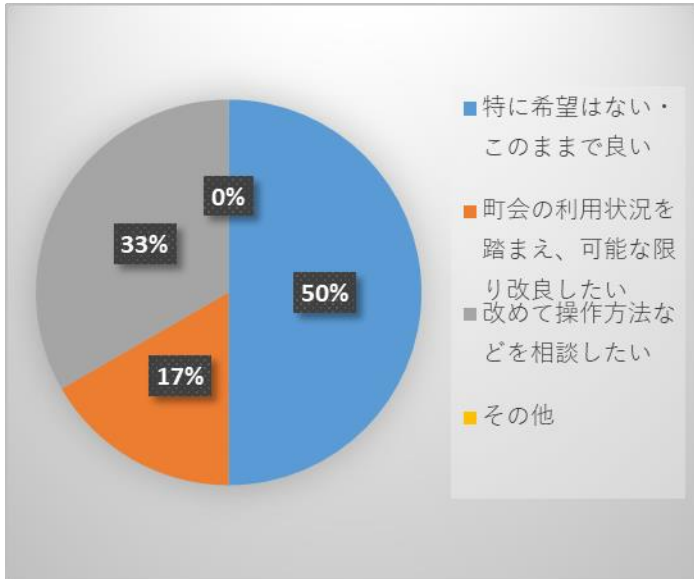
① 簡単でわかりやすかった	0
② 普通に使用できた	3
③ 難しかった・わかりにくかった	3
④ その他	0

2-(2)画面の見やすさ・デザイン等について



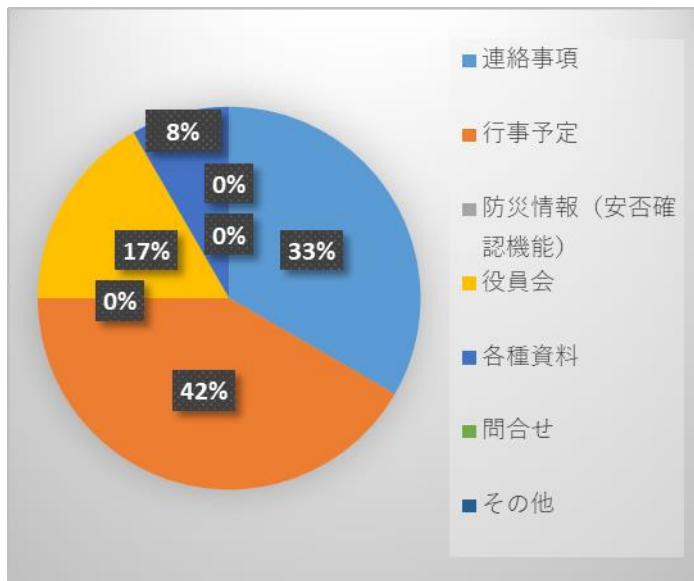
① 見やすかった・わかりやすかった	0
② 普通・見づらくはなかった	6
③ 難しかった・わかりにくかった	0
④ その他	0

2-(3)「結ネット」アプリ自体に何かご希望はありますか



① 特に希望はない・このままで良い	3
② 町会の利用状況を踏まえ、可能な限り改良したい	1
③ 改めて操作方法などを相談したい	2
④ その他	0

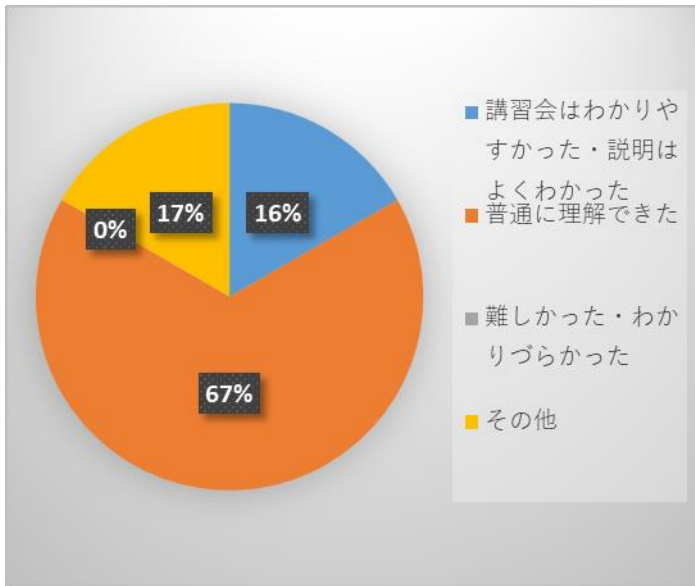
2-(4)「結ネット」アプリの各機能について実証実験中に使用した機能（メニュー）を教えてください



① 連絡事項	4
② 行事予定	5
③ 防災情報(安否確認機能)	0
④ 役員会	2
⑤ 各種資料	1
⑥ 問い合わせ	0
⑦ その他	0

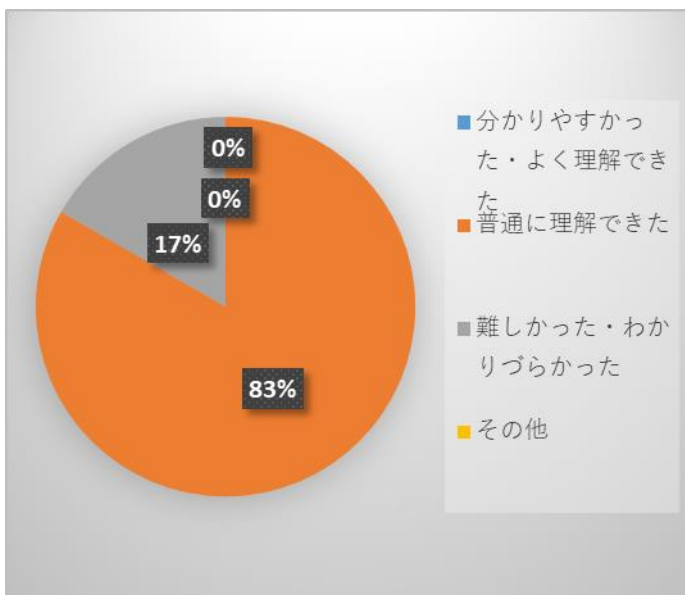
3 実証実験について

3-(1)操作講習会について



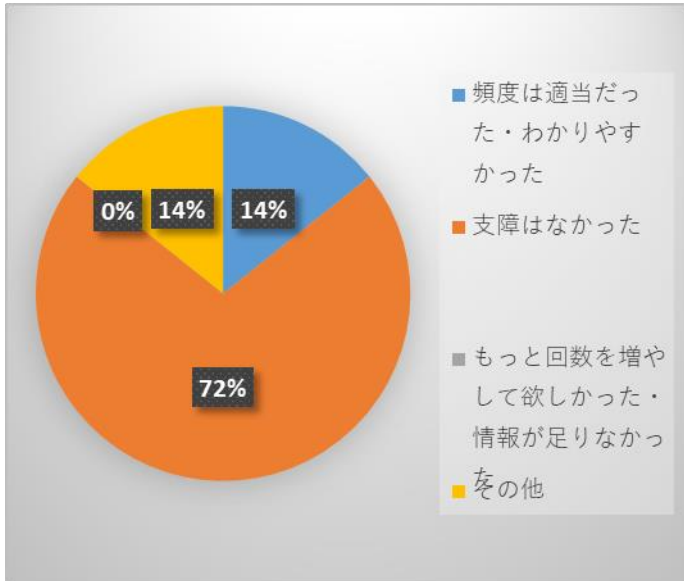
① 講習会はわかりやすかった・説明はよくわかった	1
② 普通に理解できた	4
③ 難しかった・わかりづらかった	0
④ その他	1

3-(2)操作マニュアル等について



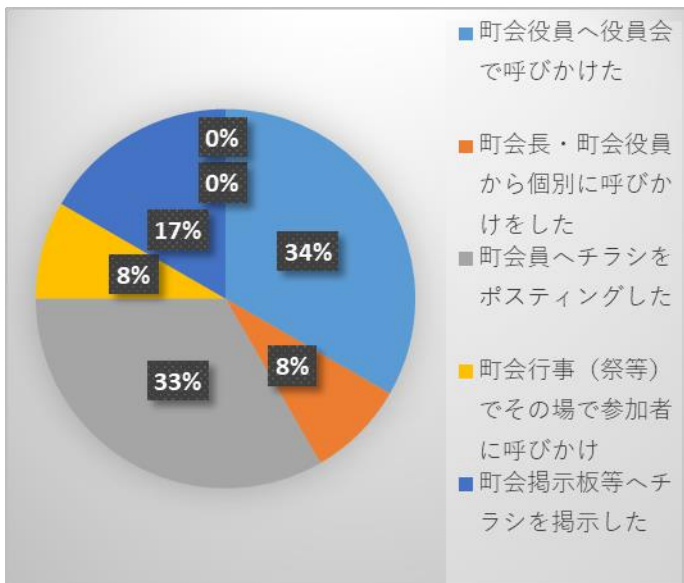
① わかりやすかった・よく理解できた	0
② 普通に理解できた	5
③ 難しかった・わかりづらかった	1
④ その他	0

3-(3) 実証実験に係る情報提供・情報共有について実証実験期間中の
区から情報提供の頻度等は



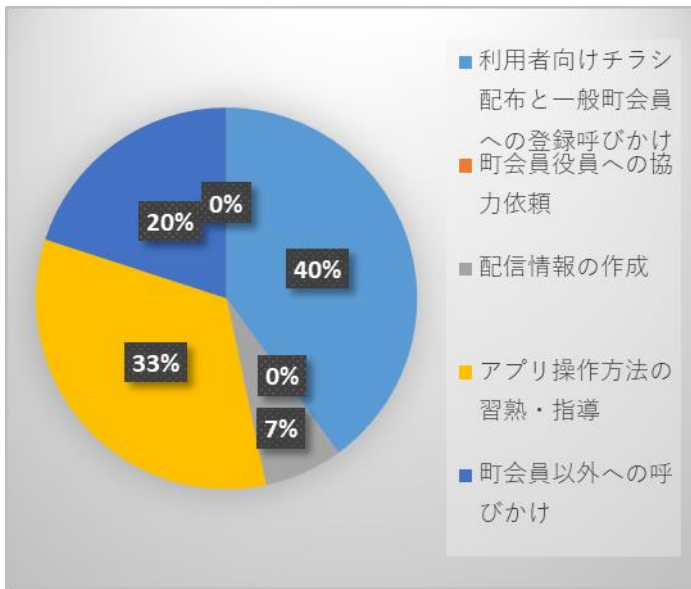
① 頻度は適当だった・わかりやすかった	1
② 支障はなかった	5
③ もっと回数を増やして欲しかった・情報が足りなかった	0
④ その他 ・中々自分で進められないので残念	1

3-(4) 実証実験中の町会員(参加者)への呼びかけについて



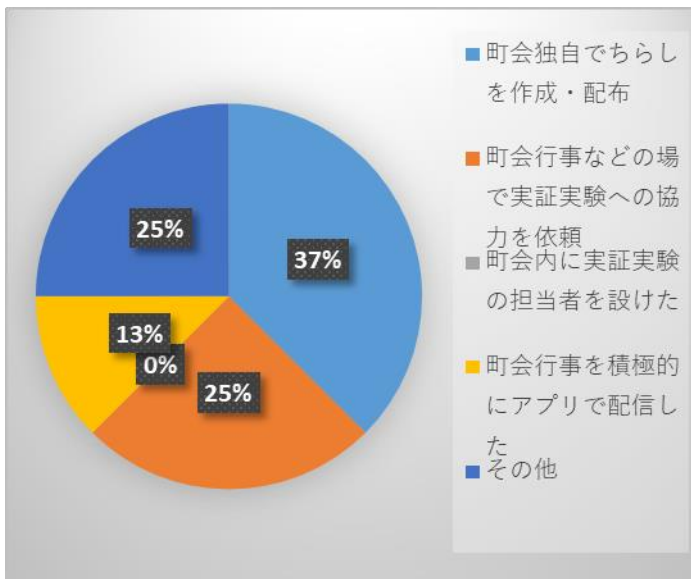
① 町会役員へ役員会を通じて呼びかけた	4
② 町会長または町会役員から個別に呼びかけをした	1
③ 町会員へチラシをポストイングした	4
④ 町会行事(お祭りなど)の参加者へその場で呼びかけをした	1
⑤ 町会掲示板等へチラシを掲示した	2
⑥ 町会の既存の連絡ツール(LINEなど)を使って呼びかけた	0
⑦ その他	0

3-(5) 実証実験中の課題について



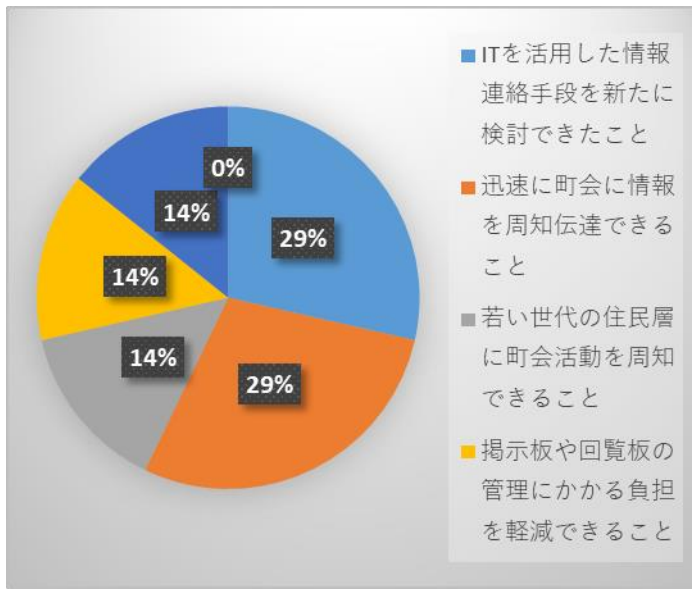
① 利用者向けチラシの配布と一般町会員への登録呼びかけ	6
② 町会員役員への協力依頼	0
③ 配信情報の作成	1
④ アプリ操作方法の習熟・指導	5
⑤ 町会員以外への呼びかけ	3
⑥ その他	0

3-(6) 実証実験中の工夫について



① 町会独自の呼びかけチラシを作成し配布した	3
② 町会行事などの場を活用して実証実験について協力を依頼した	2
③ 町会内に実証実験の担当者を設けた	0
④ 町会行事を積極的にアプリで配信した	1
⑤ その他 ・ 告知方法 ・ チラシでの呼びかけはしたのだが配信はない	2

3-(7)実証実験の成果について



① ITを活用した町会内の情報連絡手段新たに検討できたこと	4
② 迅速に町会に情報を周知伝達できること	4
③ 若い世代の住民層に町会活動を周知できること	2
④ 掲示板や回覧板の管理に係る負担を軽減できること	2
⑤ アプリを利用した災害時の安否確認など地域防災力の向上	2
⑥ その他	0

ご意見・ご要望等(自由意見)

- 町会員の年齢層が高いため、普及がやや難しい。
- 災害時の有効なツールになると思う。
- 利用機会を増やし、習熟度をアップさせたい。
- なんとか参加者を増やしたいと思っている。
- 防災情報(安否確認機能)を試したい。
- 少し長い目で見ないと結果は不明ではないか。
- 実際に活用している地域について研究してみたい。
- 「結ネット」の申請者増を図るためには、結ネットアプリの操作説明会が必要と思う。
- 自分でアプリを利用できるようになれば伝えやすいコンテンツだと思う。
- 自分自身の現状としては、見ることはできても配信等の使用方法が理解できない。

電子回覧板アプリ 実証実験アンケート(一般用)集計

【総評】

電子回覧板アプリを利用して、一般利用者向けに電子回覧板アプリの利用についてアンケートを行った。対象はアプリ登録者161名、回答数は30名(回答率18%)でした。未読55%、既読未回答27%であることから、再送による認知度向上、アンケートの回答のしやすさに課題があったと考えられる。

アンケート結果について、アプリの利用登録は町会長や役員から参加を勧められたが8割程度を占め、アプリ利用の情報が町会内にまだまだ浸透していない状況が伺える。

アプリの利用のメリットについては、町会の情報が早く分かる、町会行事に参加しやすいなど6割程度がメリットを感じている。また、区からの情報配信についても、9割程度が情報がわかりやすく、早く確実に入手できるなど好意的な意見が多かった。

今後、アプリを防災に活用できると良いかについては、9割程度がタイムリーな情報入手など、活用できると答えている。一方、通信の接続の問題やアプリの習熟の不安なども感じているようである。

次年度以降、多くの町会員へ周知徹底し、アプリ習熟や利用推奨の取組み行う必要がある。また、アプリを利用した防災訓練なども行い、防災への活用も推進していく。

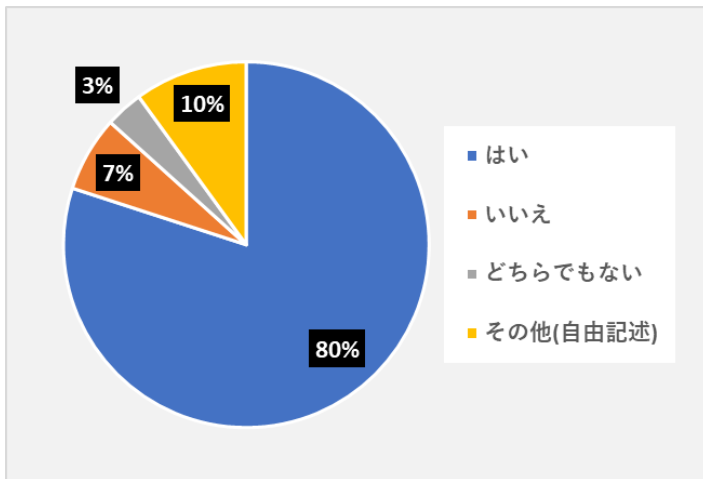
1 回答者(5町会30名)

原町三丁目町会	5名
中里町町会	7名
天神東町会	5名
赤城下町町会	10名
市谷仲之町会	3名

- 回答者 : 30名(18%)
- 既読未回答 : 43名(27%)
- 未読 : 88名(55%)
- 対象 : 161名

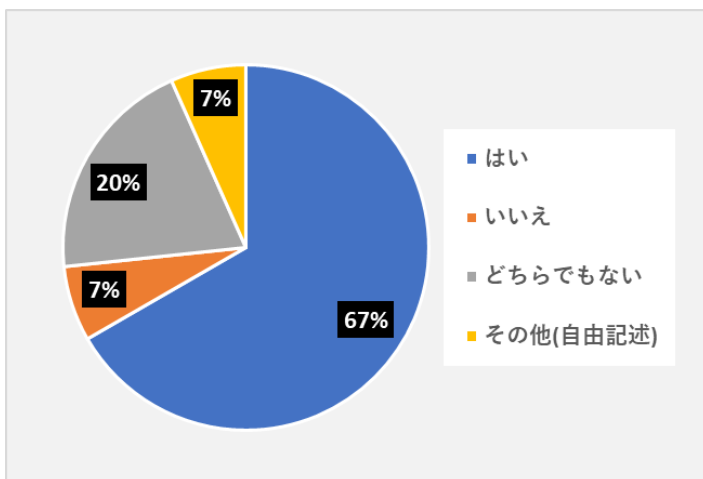
2 電子回覧板アプリ「結ネット」について

2-(1)アプリの利用は町会長または町会役員から参加を勧められた。



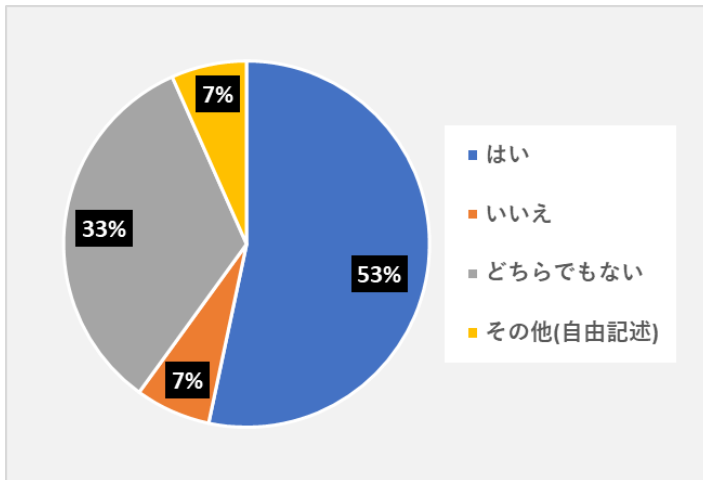
① はい	24
② いいえ	2
③ どちらでもない	1
④ その他(自由記述) ・積極的に参加 ・回覧板にこのサイトの紹介があったので自らダウンロードした。 ・結の話があった時是非参加したいと思いました。	3

2-(2)アプリの利用により町会の情報が早くわかるようになった。



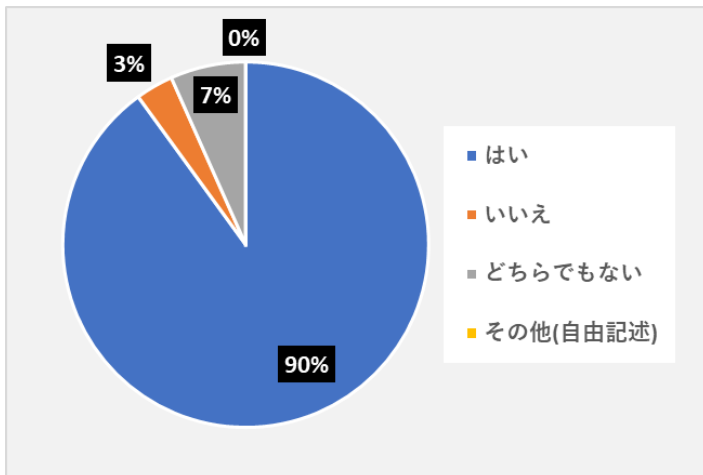
① はい	20
② いいえ	2
③ どちらでもない	6
④ その他(自由記述) ・町会行事が少なく、活用することがあまりありませんが、情報共有することができている。 ・年間を通して町会イベントの案内と、報告があり町会活動がわかりやすいです。	2

2-(3)アプリの利用により町会行事に参加しやすくなった。



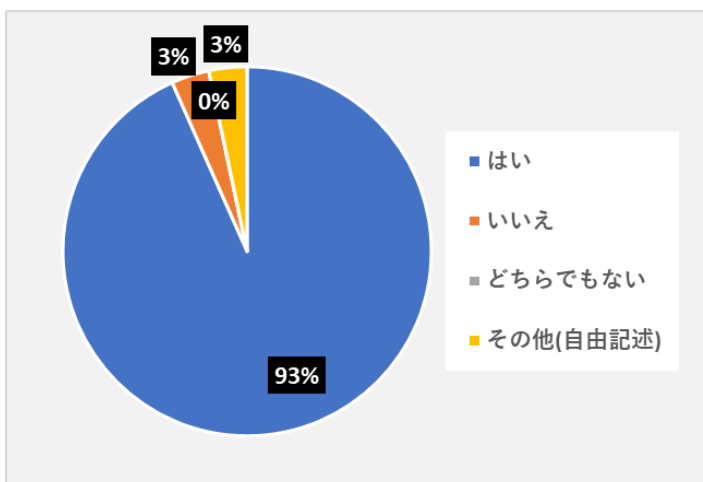
① はい	16
② いいえ	2
③ どちらでもない	10
④ その他(自由記述) ・コロナ感染症拡大防止のため、町会行事がなかった。今後に期待したい。	2

2-(4)アプリの利用により区の情報がわかりやすくなった。



① はい	27
② いいえ	1
③ どちらでもない	2
④ その他(自由記述)	0

2-(5)今後、アプリを防災対策にも活用できるとよいと思う。



① はい	28
② いいえ	1
③ どちらでもない	0
④ その他(自由記述) ・コロナ感染症拡大防止のため、町会行事がなかった。今後に期待したい。	1